



ロータリーと私④

2010年の7月からRIは戦略計画を発表、実施しました。これに先立ちアメリカや日本などの先進国での会員減少に危機感をもったRIは、数千名のロータリアンのアンケート調査を世界規模で行いました。その結果まとめられたのが、この戦略計画です。以来、定期的にその戦略計画について1万人規模のロータリアンの意識調査を行い90%を超える高い支持を得ています。

以前に日本では長期計画と訳されていましたが先月号で指摘したようにRIを始めとするロータリーの機能体的組織への変容に伴い文字通り「戦略計画」と訳されるようになったと推測できます。

ロータリーの共同体的な面を重く見る人々はこの戦略という言葉に違和感を持つようです。ロータリー財団の「未来の夢計画」の実施で地区の裁量権が拡大して利用しやすくなる一方、計画、実行、検証、成果、継続性などが求められるのも必然の帰結です。多くのロータリアンの寄付を財源とするからには責任ある対応が求められます。ロータリークラブは寄付を集めれば良く、後はRIが有効に使ってくれるだろう、というようなことでは、もう立ち行かなくなってきたのです。あくまでも当事者意識をもつ奉仕活動が求められています。

戦略計画の三本柱は①クラブのサポートと強化②奉仕活動の重点化と増加③公共イメージと認知度の向上となっています。

①は正にクラブを活性化、強化するもので、会員減少に苦しんでいるクラブは会員増強に注力し、マンネリに陥っているクラブは卓話の充実など、例会の見直しが必要です。例会の充実が会員の満足度を上げ退会を防ぎ会員増強に繋がると確信しています。5月の地区研修・協議会の新会員の部会では例会に出席することの意義が先輩ロータリアンから強調されました。クラブの革新性・刷新性が問われます。

②はクラブの強みを活かした奉仕活動を推進することでロータリアンに矜持が生まれ、クラブが活性化します。①に繋がるものです。①の充実が②を促進し、②の実行が①をもたらします。ロータリーは奉仕団体と定義づけられている現在、本質的な活動であり、「他人を思いやり、他人のために尽くす」Service above selfの実践です。重点化と増加とありますが、戦略ですから重点化が特に重要だと考えます。③は②の奉仕活動の重点化と増加が充実して始めて効果を発揮します。こう考えていくと3つの項目はそれぞれ関連しあい、一体として機能すると言えます。

ガバナー 柳生好春



Be a gift
to the world



「大輪菊」

国際青少年交換委員会



副委員長 安川 弘哲 (富山中RC)

『留学の必要性』

「高校生の留学は必要ですか？」と多くの方からの問いに私は、迷うことなく「必要です」とお答えしたいと思います。なぜならば、勇気を振り絞り一年間の留学を終え、帰国した学生諸君の成長した姿を沢山、目の当りにしているからです。

選考会に合格してから渡航までの一年弱、何度かのオリエンテーションの際に感じるのは、皆一応に過不足なく普通でおとなしい高校生達で、一年間の留学に耐え得るのか不安に思う時がよく有ります。ところが、帰国後の彼らへの印象は、一変します。瞳を希望に輝かせ自信に満ち溢れ、同年代の高校生と比べると一回りも二回りも大きく感じられる程です。一年前の子供っぽい高校生とは別人の風格に驚かせられるばかりです。内面も大きく成長し、感謝の言葉が自然に出、また表情も明るく笑顔が素敵な学生になり、自分の意見をしっかり持って行動できるようになります。

一年間の留学は、楽しいことばかりではありません。その逆で、苦しい事の連続だと思えます。それを乗り越えて行く事が交換プログラムの真髄だと考えます。若い高校生の時にしか得られない機会を、より多くの学生に広めていければと思います。

副委員長 北川 雅一郎 (金沢RC)

交換留学は育成プログラム

私が高校生の頃に留学した時代には、事前にオリエンテーションなどというものは無く、留学の心構えの何たるかもわからないまま渡航していたように思います。

当時の私のホストファミリーは、社会性も乏しい私をおおらかにも家族の一員として引き受けてくれ、問題を起こしたときも根気強く対処してくれました。

逆に自分達がお世話する立場になると、来日した留学生の至らない点が目に付くこともあります。しかし、顔は大人びていますが、所詮は高校生。我々が親の代わりとなって教えてあげることも必要なのがこの留学プログラムです。国際ロータリーは設立当初から「青少年を育てる」ことに力を注いできました。青少年交換プログラムはロータリアンの子弟同志をお互いに送り出したことからスタートし、今では年間約8000人の学生達が毎年このプログラムに参加しています。

四つのテストで有名なハーバート・テイラーはこう残しています『我々の将来は健全なる青少年育成にかかっている…』。

またカール・ステンハマー元RI会長は『全世界の高校生が交換プログラムに参加すれば世界の争いはなくなる…』と述べています。我々の将来を担う青少年の育成支援に、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

危機管理委員会

副委員長 辻 卓 (金沢西RC)

危機管理委員会とは聞き慣れない組織だと思われた方が多いと思う。

それも当然で、本来のロータリー活動からは想定外の事項に対処すべく生まれた組織であるからだ。

国際親善と相互理解を希求するロータリーの重要な国際プログラムの一つ「青少年交換プログラム」において、これまで、極めて稀ではあるが、当事者である青少年が、事件、事故あるいはハラスメントの被害を蒙り、トラブルが発生する事例があり、それ等への対処を目的とする委員会である。

国際ロータリーは、2004年11月、理事会決定として、地区レベルでの青少年交換における保険加入さらには危機管理についての具体的指針の策定義務を明らかにし、NPO法人「国際ロータリー日本青少年交換委員会」が設立され、東京海上日動火災保険株式会社と交換留学生の受入および活動支援業務を特別約款とする対人賠償保険が締結されている。

当委員会は、「青少年交換プログラム」に参加する全ての青少年の安全と健康及び健全な生活を守るべく、ガバナー及び地区青少年関係委員会に対し、対策案を作成し、必要な提言を行うのが主な業務である。

四つのテストに象徴される、ロータリー精神からは想起し得ない事項への対処で、いささか気が重いのが、「青少年交換プログラム」のみならずロータリー諸活動に於ける万全の危機管理は必要と思われる。

友情交換委員会



副委員長 久郷 慎治 (富山中RC)

過去の国際交流として2008-2009年度まで韓国光州第3710地区との間に、主に地区大会相互訪問を中心として友情交換を行ってきましたが、2009-2010年度に経済環境の悪化等の理由で3年間交流を中断することと決定し、2011-2012年度まで実際に休止いたしました。2012-2013年度に再開するかどうか検討を行ってきましたが、新たに両国間に竹島の領土問題が勃発し、再開の目途がたたず現在に至っています。その後新たな友情交換候補を検討する中で当地区と関係の深い台湾の名が挙がっています。

今回、その布石ともなる第5回日台ロータリー親善会議が平成28年6月5日に石川県金沢市で開催されます。4年前の東日本大震災において台湾のロータリアンの皆様のいち早い義援は忘れることが出来ません。

また、今回の茨城県常総市の鬼怒川の水害においても台湾出身の在日台湾人の主婦11人がどこの国よりも早く市庁舎に駆け付けボランティア活動の協力を申し出たそうです。この様な頗る健全な日台関係の中で台北RCロータリアンとしても活躍された八田與一大先輩の出身地でもある石川県で今会議が開催されることに大きな意味があることと確信しております。当委員会は本会議のPRを地区内外のロータリアンを中心に今後広くすすめていく予定としております。

本会議に対し石川県・富山県のロータリアンとして最大限のおもてなしの心でお迎えしたいと考えております。会員各位の絶大なるご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。



副委員長 松本 耕作 (金沢RC)

本年度は地区の友情交換副委員長と、来年6月に開催される第5回日台ロータリー親善会議実行委員会の事務局長を拝命することとなり、何かと気忙しい一年になりそうです。日台ロータリー親善会議は東京の第2580地区が中心になって、2年に一回相互に開催されており日本での開催は第1回の東京、第3回の京都に続くものです。私は、ロータリーはクラブの活動が第一義であると考えておりますが、世界的な組織の一員であるという観点から国際交流もあってよいものと思います。これは国内の姉妹・友好クラブなどと同様で、メンバーの理解があってこそ成り立ち、逆に、はじめから交流ありきとなると構えてしまかなかうまくいきません。来年の会議では、日本側からは田中元RI会長、台湾側からは黄RI直前会長をお迎えしお話をうかがう予定であります。メンバーの皆様に理解を求めながら交流の場を設営するのが役割と考え邁進します。ご関心のある方は是非ご参加下さい。

会員拡大増強委員会



副委員長 結城 康則 (高岡万葉RC)

2015-16年度を迎えて

2013-14より地区の会員拡大増強委員会に出向し、今年度は副委員長を仰せつかりました。地区に出向する事により、各クラブから出向されているロータリアンに接する機会も増えました。クラブが変わればいろいろな御意見もある様で、大変刺激を受けております。

さて、会員拡大増強に関してですが、2610地区内、各クラブの状況を地区行事の折にお聞きしますが、それぞれのクラブ内に「特有の事情」と言うものがある様です。特に、メンバー数の多いクラブと少ないクラブでは、会員増強に対する認識の違いがある様で、ひとくくりで考えられる課題ではないと思います。地区内のメンバー数がひとりでも多く増えるよう、また、退会者が一人でも少ない様、委員長の下、地区委員会メンバー、各クラブと連携し活動していきたいと思っております。

職業奉仕委員会



副委員長 荒井 進 (南砺RC)

ロータリーには二つの奉仕理念があります。一つは「One profits most who serves Best : 最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」もう一つは「Service above self : 超我の奉仕」人道的奉仕活動の理念とされています。One profits most who serves bestはアーサー・F・シェルドンが提唱したフレーズであり、今から110年以上前、シカゴのロータリークラブが創立される以前の1902年にシェルドン・スクールで教えていた理念であります。本来、ロータリーの奉仕理念の主流は職業奉仕であったのですが、徐々に社会奉仕に変わろうとしていることを憂えている一人です。ロータリーに職業奉仕という概念が生まれた1927年以降奉仕の理念として職業奉仕のモットーに変化し、定着したものでありますが、前述のように理念と実態の乖離が杞憂されます。いま拠って立つべき日本のロータリアンの精神は「One profits most who serves best」であろうと思っております。ロータリー活動の支柱の一つとして、さらに啓蒙を深め、真摯に取り組んで参りたいと存じます。

受入交換学生 アメリカ カナダ 来日オリエンテーション

8月31日（月）、高岡にて、受入交換学生8人とホストクラブのメンバー、地区国際青少年交換委員会のメンバーの参加でオリエンテーションを行いました。8月に来日したアメリカ・カナダからの学生達8名には、交換留学における心構えやルール、学校ならびにホストファミリーと過ごす上での注意点などを理解してもらいました。



All of the exchange students want to sincerely thank all of the work and effort that everyone has put into this program! We hope to have a great year of cultural exchange! We hope to accomplish much during this wonderful opportunity that has been given to us. We all believe that Rotary is the best community service organization that has been established to this date. We hope to not only contribute to the community while on our exchange, but also to empower those of future generations to continue use this wonderful organization and program. Thank you all!

- Ryan Dell'olio

留学生の原稿の簡易訳

私たち交換留学生は、今回ご尽力いただいた皆様に心から感謝しています。この一年間、満足 of いくよう文化交流をしたいと思っています。(→取り消し線部分)

与えていただいた素晴らしい機会を活かし、多くのことを達成したいと思っています。

また、わたしたちは皆、ロータリーは最高の社会奉仕団体であると信じてやみません。

現在の留学生へのご寄付だけでなく、将来の世代の留学生へのご支援も続けてほしいと祈っています。

国際ロータリー第2610地区 2015 - 2016年度 国際青少年交換受入学生 アメリカ・カナダ・オーストラリア【上半期】

No	学 生	ホストクラブ	No	学 生	ホストクラブ
1	Jade SIMPSON カナダ	黒 部	5	Hannah HUISMAN アメリカ	金 沢 東
2	Hayley BECKER カナダ	珠 洲	6	Ryan DELL'OLIO アメリカ	富 山
3	Daniel MATEUS カナダ	白 山 石 川	7	Grettel AGUIRRE アメリカ	金 沢
4	Nicholas STAGAMAN カナダ	富山シティー	8	Nicole NABITY アメリカ	金 沢 西
9	Tiffany VAN DAM オーストラリア	金 沢 東	11	Elizabeth WALKER オーストラリア	南 砺
10	Olivia SMITH オーストラリア	魚 津 西	12	Joseph LIMN オーストラリア	高 岡 万 葉

※8月に来日したのはアメリカ・カナダからの学生8名ですが、すでに今年1月に来日しているオーストラリアからの学生4名を含めると上半期は12名の学生を受け入れることになります。

2016-17年度 派遣予定学生選考会

9月13日（日）、2016-17年度派遣予定学生の選考会を行いました。

挨拶、地区委員会からの各種説明ならびに連絡事項を伝達した後、英語筆記試験、面接を行いました。

合格した学生達は、来年の夏にアメリカ、カナダ、オーストラリアにそれぞれ派遣されます。派遣までの一年間、計4回のオリエンテーションを通して留学の準備ならびに心構えなどを学ぶ予定です。



国際ロータリー第2610地区

第2回 クラブ社会奉仕委員長会議

講演会 「日本の森を守る新しい技」

と き：2015年9月5日（土）10：00～11：40

と ころ：石川県地場産業振興センター本館1F第7研修室

クラブ社会奉仕委員長会議として、9月5日（土）10：00から石川県地場産業振興センターで講演会を開催いたしました。地区社会奉仕委員長を引き受けて3年目で初めての講演会で、過去を振り返ってもこのような講演会は初めてという事と、柳生ガバナーに一般参加の許可を頂いた結果、一般参加者が会員を超へ、又定員を上回る大盛況のうちに終える事ができました。

講話者は飛騨産業株式会社代表取締役社長の岡田賛三氏をお迎えして「日本の森を守る新しい技」"圧縮杉の家具"のテーマでお話し頂き、皆様からとても感動したとのお褒めの感想を頂きました。地区委員13名、クラブ委員52名、一般の方53名（当日参加のロータリーの方も若干名含む）計118名の大盛況のうちに終える事ができました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

文責 地区社会奉仕委員長 谷 伊津子（金沢百万石RC）



R 財団・米山記念奨学会 寄付者（8月）

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尾田久美子	8月6日	越中八尾	4回
岡部 一輝	8月5日	南 砺	6回
岡田 等	8月26日	河 北 南	1回
中村 哲郎	8月28日	金 沢	4回
織田 英也	7月17日	野々市	2回
上杉 豊明	8月28日	小 松	2~4回
間蔵 信行	8月31日	七尾みなど	3回

ポール・ハリス・フェロー

安藤喜代子	8月20日	金沢みなど
中野 秀治	8月19日	小 松 東
高見健次郎	8月19日	小 松 東

米山功労者 メジャードナー

津田 達雄	8月13日	砺 波	23回
下口 幸雄	8月24日	加 賀	12回

米山功労者 マルチプル

尾田久美子	8月6日	越中八尾	2回
岩井 重哲	8月27日	金 沢 南	7回
中村 寛二	7月8日	野々市	5回
織田 英也	7月17日	野々市	3回
元尾 弘司	7月17日	野々市	2回
坂本 哲也	8月24日	加 賀	2回
井野上盛光	8月24日	加 賀	4回
堀井 隆栄	8月24日	加 賀	5回

米山功労者 マルチプル

山本 秀樹	8月24日	加 賀	6回
上杉 豊明	8月28日	小 松	4~10回

米山功労者

西 茂	8月26日	河 北 南	1回
宮野 勝弘	8月26日	河 北 南	1回
山本 富元	8月20日	白 山	1回
岡崎 敬規	8月28日	七尾みなど	1回

新会員・退会者（8月）

入会された方

大久保昌利	8月25日	富 山
杉山 宏治	8月7日	富 山 南
小林 岳志	8月18日	富山みらい
折橋 繁治	8月5日	富 山 中
渡辺 誠	8月20日	高 岡

入会された方

岡安 大助	8月5日	金 沢
嶋田 泰嗣	8月5日	金 沢
中村 和哉	8月3日	金 沢 東
高嶋 俊英	8月4日	金 沢 南
中村 裕	8月7日	金 沢 西

退会された方

北村 直樹	8月25日	金 沢 南
宮森 紀好	8月1日	野々市

会員身分変更

山本 敏久	7月1日	七尾みなど	名誉会員
-------	------	-------	------

ロータリー・リーダーシップ・研究会 (RLI) について

ロータリー・リーダーシップ・研究会は1992年にアメリカのニュージャージー州で元RI理事によって始められたことを嚆矢とする。以来、世界360地区、日本14地区が採用するロータリーの研修プログラムとして着実に発展して今日に至っている。

近年、RIは目まぐるしく変化している。その変化をどの程度のロータリアンが理解しているだろうか？DLP,CLPに始まり2010年に採用された「RI戦略計画」に至る一連のRIの改革についても、今だ各クラブの理解に大きな差があるのが現状である。

会員増強は喫緊の重要課題ではあるが、新会員の定着もそれに劣らず重要である。新会員にロータリーの魅力を早期に理解してもらうにはクラブのリーダーの指導力が必須である。RLIは地区が行うリーダー育成のプログラムである。形式においてポジティブ・ラーニングのスタイルで参加者とディスカッション・リーダーの双方向のディスカッションが中心となる。

クラブのリーダーの育成がクラブの活性化に繋がる、との考えにもとづくものである。充実したテキストも完備しており、この研修会に参加することにより、ロータリーの魅力が再発見されるに違いない。

この年度で開催にこぎつけるのは少しく困難であるが、少なくとも指導者の選定及び育成に力を注ぎたい。ロータリアン諸氏の協力をお願いする次第である。



例会出席報告 (8月分)

2015年8月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減							期初	月末	増減
富山第1分区	朝日	69.00	60	72.00	59	25	25	0	石川第1分区A	河北	77.78	44	79.29	45	20	21	1
	黒部	73.73	56	76.45	53	15	15	0		河北南	95.31	11	94.53	11	16	17	1
	黒部中央	81.48	36	80.21	42	19	18	-1		金沢	90.23	21	90.39	19	114	116	2
	滑川	77.77	45	75.55	55	6	6	0		金沢東	86.86	26	89.31	24	95	99	4
	入善	60.00	64	62.67	63	15	15	0		金沢香林坊	80.41	37	78.96	46	104	104	0
	宇奈月	61.84	63	62.50	64	19	19	0		金沢南	98.21	7	96.38	6	56	58	2
	魚津	74.18	54	78.06	47	32	32	0		6 RC	88.13	3	88.14	3	405	415	10
	魚津西	72.40	57	76.82	51	30	30	0		白山	84.62	31	88.10	25	34	34	0
	8 RC	71.30	9	73.03	9	161	160	-1		白山石川	77.34	47	81.88	40	36	36	0
富山第2分区	越中八尾	100.00	1	100.00	1	23	23	0	石川第1分区B	金沢百万石	64.96	61	66.52	62	41	41	0
	上市	77.27	48	77.84	48	22	22	0		金沢北	78.07	43	77.60	49	50	50	0
	立山	62.12	62	71.20	60	14	15	1		金沢みなと	74.81	53	74.76	56	48	46	-2
	富山	76.40	50	79.38	43	94	94	0		金沢西	90.70	19	90.43	18	46	50	4
	富山シティ	53.25	65	62.43	65	81	81	0		野々市	89.17	22	90.90	16	41	40	-1
	富山南	76.87	49	76.87	50	54	58	4		7 RC	79.95	7	81.45	7	296	297	1
	富山みらい	83.24	32	82.23	36	78	80	2		加賀	93.62	13	93.83	12	48	48	0
	富山中	82.39	35	81.95	39	57	59	2		加賀中央	96.19	8	94.67	10	35	35	0
	富山西	95.49	10	94.70	9	60	62	2		加賀白山	88.46	23	87.44	27	30	30	0
	富山大手町	83.09	34	76.75	52	44	44	0		小松	80.11	40	82.56	35	59	59	0
	10 RC	79.01	8	80.33	8	527	538	11		小松東	79.11	41	83.48	33	37	37	0
富山第3分区	射水	90.49	20	89.50	21	28	28	0	石川第2分区	小松シティ	85.16	30	85.81	29	31	32	1
	東となみ	87.50	25	88.09	26	20	20	0		能美	80.12	39	84.97	31	57	57	0
	新湊	85.83	28	86.83	28	41	43	2		山中	85.52	29	82.23	36	19	19	0
	新湊中央	80.35	38	80.65	41	14	14	0		8 RC	86.04	4	86.87	4	316	317	1
	高岡	100.00	1	100.00	1	68	70	2		羽咋	95.56	9	95.56	7	26	27	1
	高岡万葉	99.53	6	99.77	5	77	77	0		中能登まほろば	100.00	1	92.36	13	17	16	-1
	砺波	91.09	18	90.46	17	51	51	0		中島	92.58	16	89.34	22	10	10	0
	7 RC	90.68	1	90.76	1	299	303	4		七尾	73.82	55	74.57	57	52	53	1
富山第4分区	氷見	87.96	24	89.34	23	44	45	1	石川第3分区	七尾みなと	77.55	46	83.21	34	43	44	1
	氷見中央	93.94	12	91.52	14	11	11	0		志賀	78.95	42	81.99	38	18	19	1
	南砺	75.98	52	75.98	54	53	54	1		富来	72.00	58	74.43	58	15	15	0
	小矢部	83.21	33	84.56	32	38	38	0		7 RC	84.35	6	84.49	6	181	184	3
	小矢部中	93.50	14	94.82	8	41	42	1		穴水	100	1	100.00	1	14	14	0
	高岡北	91.41	17	91.36	15	43	43	0		能都	76.34	51	79.30	44	32	32	0
	高岡西	100.00	1	100.00	1	57	57	0		珠洲	86.67	27	85.34	30	27	27	0
	7 RC	89.43	2	89.65	2	287	290	3		内浦	69.52	59	69.92	61	15	16	1
65 RC合計	83.78	84.40	2,592	2,626	34				石川第4分区	輪島	92.93	15	89.65	20	32	33	1
										5 RC	85.09	5	84.84	5	120	122	2

10月 行事予定表

<経済と地域社会の発展月間 / 米山月間>

3・4日(土・日)	七尾RC創立60周年記念事業	加賀屋「花吹雪」	14:00～
5日(月)	地区ガバナー指名委員会	ホテルニューオータニ高岡	18:00～
18日(日)	第38回インターアクトクラブ年次大会(ホスト:尾山台高校)	藤花学園尾山台高等学校講堂	10:00～15:00
18日(日)	小松RC創立60周年記念例会	石川県小松芸術劇場うらら大ホール	13:30～
24日(土)	地区ロータリー財団委員会・クラブ委員長会議	グランドホテル白山	10:00～12:00
	指導者育成セミナー、地区大会(ホスト:白山RC)	白山市松任学習センター	13:00～16:50
	RI会長代理ご夫妻歓迎夕食会	グランドホテル白山	17:30～
25日(日)	地区大会(ホスト:白山RC)	白山市松任文化会館	12:30～17:00
		白山市松任総合運動公園体育館	18:00～20:00

10月 公式訪問 カレンダー

月		火		水		木		金	
5		6		7	志賀	8	珠洲、能都、内浦	9	
12		13		14	富来	15		16	
19		20		21	野々市	22		23	

第5回 日台ロータリー親善会議実行委員会

第1回 実行委員会開催

9月19日(土) ホテル金沢にて第5回日台ロータリー親善会議の第1回実行委員会が開催されました。第1部の部会長会議では、柳生実行委員長、柴田事務総長、松本事務局長、登録部会の越原部会長、式典部会の宮永部会長、懇親部会の蚊谷部会長の参加により、実行委員会の発足当初から、台湾のメンバーを交えて5月に開催された同会議の準備会合、その後の打ち合わせにより今回の実行委員会発足までの課題の整理および第2部の進行について打ち合わせをしました。

第2部では、イ)台湾の歴史や日台ロータリー親善会議の歴史などの全般的な説明から当日の具体的なスケジュール案、概略の予算見込みについての説明。ロ)各部会に分かれて部会長からそれぞれのメンバーに対して、行うべき業務の内容の説明、質疑応答、現況報告などがおこなわれました。

第3部の懇親会では、来る6月5日の会議の成功を祈念して、中川特別顧問の乾杯の発声によりメンバーの懇親を深め、メンバー一同の決意を新たにしてお開きとなりました。



編集後記

9月は、柳生年度の特出すべき事業の日台親善会議の第1回実行委員会が開催され、国際青少年交換留学生のオリエンテーションも行われた。両事業とも国際奉仕・親善を目的とするロータリーならではの事業です。今年度の月信では、各クラブの特徴ある事業を掲載したいと考えております。皆様のご投稿お待ちしております。



国際ロータリー第2610地区
2015-2016年度 ガバナー事務所

〒921-8161 石川県金沢市有松5-8-28 (株)日本エルディアイ3F
TEL:076-245-5575 FAX:076-245-5576
MAIL:yagyu15-16@rotary2610.jp

ガバナーマンスリー表紙デザイン 10月「大輪菊」

10月は菊をデザインさせて頂きました。秋に咲く一輪の大輪菊をデザインしテーマとする透明感と秋の彩りも表現出来ていれば幸いです。

加賀友禅作家 田嶋 秀之 野々市ロータリークラブ